

6月 は 環境 月 間

問合せ 環境衛生課

☎072-958-1111 内線 2830

環境にやさしい暮らしを

私たちの暮らしは環境に大きな負荷を与えています。エネルギー（電気・ガス・水など）の消費に伴い、発生する二酸化炭素等の温室効果ガスは、異常気象や海面上昇、食料危機などを引き起こす地球温暖化の主な原因と考えられて

います。「通勤に公共交通機関等を利用する」、「適温で冷暖房を使用する」、「使用しない電化製品のコンセントを抜いておく」、「節水を心掛ける」など環境に配慮した暮らしを意識しましょう。

環境騒音の状況

市内の公園など幹線道路に面しない一般地域 23 地点で環境騒音調査の監視を実施しました。一般地域 23 地点の主たる音源は昼夜共に自動車音となっております。

※一般環境騒音とは人間活動により発生する騒音。環境基準の適用対象外である騒音や、環境基準に基づく騒音の評価の妨げとなる騒音は除外して評価を行う。

※数値は昼間、()内は夜間。

※A 類型は第 1、2 種低層住居専用地域・第 1、2 種中高層住居専用地域、B 類型は第 1、2 種住居地域・準住居地域、C 類型は近隣商業地域・商業地域・準工業地域。

| | 市内平均 | A 類型の地域 | B 類型の地域 | C 類型の地域 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 市内地域別 騒音レベル (LAeq) | 50 (46dB) | 49 (42dB) | 51 (41dB) | 54 (53dB) |
| 環境基準値 (LAeq) | | 55 (45dB) | 55 (45dB) | 60 (50dB) |

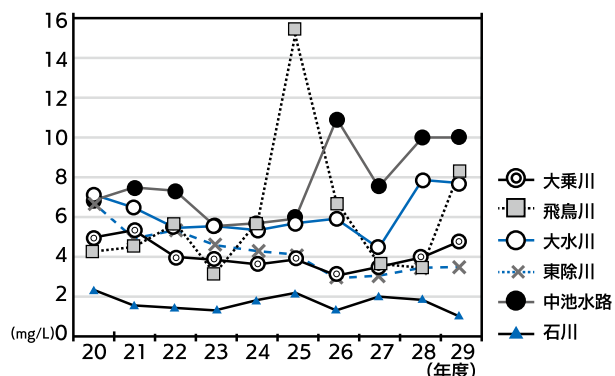
一般大気（ダイオキシン）の状況

市域のダイオキシン類による汚染状況を把握するため、一般環境大気について、夏季と冬季に市内 2 カ所（市民会館・支所）で調査を実施しました。市民会館は 0.023pg-TEQ/ m³、支所は 0.022pg-TEQ/ m³で両地点とも環境基準値 0.6pg-TEQ/m³ を下回りました。

河川水質の状況（市内河川で水質監視）

河川水質を代表する指標である生物化学的酸素要求量（BOD）は、中池水路、大水川、飛鳥川を除いた 3 箇所で環境基準値を達成しました。水質向上のためには生活排水対策などの取り組みが重要です。

※石川は B 類型で 3mg/L 以内、東除川、飛鳥川は C 類型で 5mg/L 以内、大乗川、大水川、中池水路は類型指定がなく、ここでは C 類型と見なしています。



今年の水道週間スローガンは

水道水 安全 おいしい 金メダル

6月1日～7日は「第60回水道週間」

水道週間は水道について国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るとともに、水道事業の更なる発展に役立てることを目的として毎年実施されています。

この機会を通して市民の皆様一人ひとりに水質保全や水の大切さを理解していただくとともに、将来に向かって、大切な資源である“いのちの水”について関心を更に深めていただくようお願いいたします。



問合せ 水道局 総務課総務担当 ☎072-958-1111 内線 5013